

科目名	栄養学Ⅰ (食生活と栄養)					DP4 DP5		看護高等課程
学年	1 年	分野	専門基礎 栄養	時間数	23 時間	担当 教員	熊川 景子	
科目 概要	人体を構成している物質は、新しく産生された物質と置き換わり、常に人体を活性化（新陳代謝）するように働いている。そして食物を摂取することで得られた栄養素を基に人体に必要な物質を産生し、さらに活動するために必要なエネルギーを産生している。このような生体内の代謝はそれぞれの臓器、組織が相互に補償しあって円滑に機能している。その為、人の生体内における正常な機能（物質代謝）を知り、健康を維持するために必要な栄養の基礎的知識を学ぶ。							
到達 目標	1. 人体に必要な栄養素と代謝を理解することができる。 2. 食物の摂取、消化、吸収について、栄養素との関連について理解することができる。 3. エネルギー代謝過程を知ることができる。							
回数	単元項目		授業内容			形態	担当教員	
1～11	食生活と栄養の意義 食生活について		食生活の変遷、健康づくりのための食事の指針 食生活と疾病予防			講義	熊川	
	食事摂取基準		日本人の食事摂取基準、エネルギーの食事摂取基準 栄養素の食事摂取基準					
	栄養素とその代謝		たんぱく質、脂質、炭水化物、ビタミン 水とミネラル					
12	試験		(1 時間)			試験		
評価 基準	100 点満点とし、6 割以上を合格とする。また、授業時間数の 3 分の 2 以上の出席が必要となる。							
評価 方法	出席状況と講義への参加態度、筆記試験などで総合的に評価する。							
教科書	看護学入門 2 栄養 薬理 必要時、資料等は配布する。							
履修上の 注意点								